

高杉晋作「高杉晋作書簡」(『亡友帖』より)

慶応元(18

65)年頃

はいしやうたてまつりそうろう奉拝誦候、掛物にわか慥に落領仕候。過日は遠方御来らいじょうかたじけなくたしやたてまつり

杖辱 奉多謝候。其節は

おそれりたてまつり

激論申述 奉恐入候、病客は

気短にて兎角失敬。とかくくだされ御許容被下候様 奉頼候。為国くにのためじょしんいのるところ

の狂言と御恕心所祈に

御座候。航蔵氏えも宜敷

の儀、■ ■ ■ ■ 孰れ

はいほうばんるこれあるべく

拝鳳万縷可有之。貴答

迄勿々頓首。

十六日

谷

石田様

貴報